



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 帯広の「条」と「丁目」

「西〇条北〇丁目」「東〇条南〇丁目」。帯広ではごく普通の地名表記なのに、今でも戸惑う。帯広に赴任してから1年以上たつが、恥ずかしながら、表記を見ても道に迷う。

これまで勤務した北見や札幌では、南北が「条」で、東西が「丁目」のため、混乱してしまう。と言っても帯広の表記が分かりにくい訳ではない。街並みは基盤の目状でむしろ分かりやすい。私の頭が固いからだろう。



帯広報道部  
俵積田 雅史

帯広の条・丁目は国道38号と国道236号(大通)との交差点が基点となる。南北を貫く大通の方が先にでき、東へ西へと市街地形成が進んだことと関係がありそうだ。道東では釧路管内白糠町や根室管内中標津町も帯広と同じ表記だ。

丁目といえば、帯広市の「西19条南42丁目」は日本の丁目で最大の数字だという。広大な帯広らしい日本一。たまにはカーナビに頼らず、地図を見ながらのんびりと歩けば、頭もほぐれるだろう。

2017年8月5日朝刊帯広・十勝版

- ①帯広の「条」と「丁目」の表記の特徴（とくちょう）を、次の□に言葉を入れて完成させましょう。

□□ が「条」で、□□ が「丁目」

- ②文中に「私の頭が固いからだろう」という表現があります。この「頭が固い」とはどのような意味でしょうか。次のア～ウより選んで答えましょう。

- ア. 頭が石のように固いこと
- イ. その場に合ったやり方や考え方ができないこと
- ウ. 真面目であること